



文蔵小通信

さいたま市立文蔵小学校

336-0025 さいたま市南区文蔵5-16-29

TEL 863-0721 FAX 836-1583



【文蔵小ホームページ】

これからの教育

校長 渡邊 勝利

梅雨本番です。鬱陶しいじめじめした日が続きますが、同じ雨でも、見える景色は日によって違いがあります。気温や湿度、時間による違いだけではなく、その時の気持ちの浮き沈みによる影響かもしれません。雨模様を憂えるのではなく、四季の良さを堪能しながら日々過ごしていきたいものです。

さて、6月5日(水)ですが、6年生によるプール清掃が行われました。厳しい暑さの中、プールサイドの草取りやゴミ拾いを中心に、子どもたちは一生懸命頑張ってくれました。各クラス1時間、計3時間にも及ぶ活動です。翌週のプール開きの際には、各学年から「プールがきれい」「すご～い」と喜びの声が多く聞かれました。6年生のみなさん、ありがとうございました。



また、6月12日(水)には、南浦和中学校の生徒と本校の児童と合同で、「小中あいさつ運動」が文蔵小学校で行われました。年3回実施予定の第1回目となります。文蔵地区のあいさつ運動の推進のみならず、児童生徒間の交流をねらったものです。先輩方のあいさつの声の大きさに後押しされて、文蔵小学校にいつも以上の元気なあいさつが響き渡った朝でした。中学生の様子を肌で感じる事ができ、多くのことを学ぶことができたのではないのでしょうか。

上記の取組に共通していることがあります。それは、「子どもたちの主体的な学び・活動」に重点を置いているということです。『第2期さいたま市教育振興基本計画』における、本市が目指す人間像に、「グローバル化、情報化など予測が困難な未来に対応し、多くの情報の中から何が必要かを主体的に判断し、自ら立てた問いの解決を目指し他者と協働しながら最適な解を見付け、新たな価値を創造することができる人」とあります。教師が一方的に指示し、児童は言われたことをただやるというだけでは、これからの時代は生き抜いていけません。そのことを私たち教職員(大人)は意識し、子どもたちに接していかなければなりません。学年や学級の実態や発達段階に応じて子どもたちのやりたいことを引き出し、アイデアを出し合い、折り合いを付けながらまとめ、自分たちの想いを創り出す過程にこそ価値があると考えています。

本校では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業実践について研究しています。その際、ICT環境を基盤とし、「つかむ・見通す・自力・協働・練り上げ・メタ認知」の6つの学習プロセスの充実を図る、「さいたま市『アクティブ・ラーニング』型授業」を中心に据え、真の学力の育成を目指していきます。今後も、生涯に渡って主体的に学び、活動できる児童の育成に力を入れた教育活動を推進してまいります。

早いもので、1学期も残すところ後3週間となりました。保護者や地域の皆様には、様々な場面でご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。子どもたちが楽しい夏休みを迎えることができるよう、今後も教職員一同、心一つにして教育活動に取り組んでまいります。

防犯教室より 6月6日(木)

埼玉県警『あおぞら』より講師を招聘し、防犯教室を実施しました。不審者対応について、次のような話がありました。お子さんと確認する等、参考にしてください。

・1人にならない

大勢いると助け合えるため1人にならないようにする。家に入るときに、誰もいなくても「ただいま～」と言いながら入る。呼び鈴が鳴ってもすぐにドアを開けない。(誰か確認する)

・付いていかない

「ゲームやろう」などと誘われても断る。道を聞かれても「大人に聞いてください。」と言う。階段や公園のトイレ、駐車場が死角となるので特に気を付ける。

・大きな声で助けを呼ぶ

何回も助けを呼ぶ。「ワ～」「キャー」は遊んでいると思われるため効果がない。防犯ブザーは手の届くところ、周囲から見えるところにする。電池の確認を定期的にする。

・「誰と・どこで・何時まで」を伝える

家に誰もいないと、事故か誘拐なのか分からず心配してしまう。連絡方法を各家庭で決めておくとうい。